



公明党  
堀 重雄

## 第2期財政健全化計画について

**質問** 計画では「適正な組織の構築のため毎年度検討し、簡素で効率的な組織を目指す」、「国が提唱する働き方改革を推進し、前例踏襲の考え方を是とすることなく効率化を追求する」と表明されているが、具体的な取り組みを伺う。

**答弁** 学校給食において、民間企業のノウハウを活用した業務の委託化を進めています。また、職員にタブレット端末を配置し、会議などの効率化を図りました。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応では、多様な働き方に資するため時差出勤を試行するなど、前例によらないやり方で効率化につながることを模索し進めています。

**質問** 業務改善は市長の強いリーダーシップのもとに、職員の意見を吸い上げる必要があると思うが見解を伺う。

**答弁** 業務改善は職員との人間関係の構築や、環境をいかに作るか

ということにつながると思います。幹部職員はもちろん、新採用職員に対しても、常に業務改善を心掛け、新しい視点で市政を変えていってほしいと伝えており、これからもその姿勢は続けていきたいと考えています。

## 国の第2次補正について

**質問** ささまざまな経済対策が打ち出されたが、制度の周知についての考えを伺う。

**答弁** 補正予算が成立し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充や家賃支援給付金の創設、雇用調整助成金の拡充など、さまざまな経済対策が打ち出されました。

本市においては、追加交付される新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、必要な事業を実施していく予定ですが、その周知については、事業を実施する各所管において公式ホームページや広報紙などのほか、あらゆる媒体を活用し、対象者に周知していきたいと考えています。

また、分かりやすい事業内容の一覧表の作成を検討しています。



新政会  
佐々木和代

## 児童虐待について

**質問** 新型コロナウイルス感染症流行により、学校の休校や外出自粛があった中、本市におけるDV、児童虐待の相談件数の状況と対応における課題を伺う。

**答弁** 子どもの見守り機会が減少することは、児童虐待のリスクが高まると懸念されています。各関係機関に対し、自粛期間中のリスクについて注意喚起を図り、要保護児童などの安全確認を行ってききましたが、この間、新たな相談や児童相談所に通告が必要となるような重要な案件はありませんでした。これからも、関係機関や地域住民などへの積極的な啓発に努めていきます。

## 外出自粛による高齢者への影響について

**質問** いきいき百歳体操が新型コロナウイルス感染症流行の影響により2月末より休止されている。外出自粛による高齢者への身体的・精神的影響は大きいと思われるが、今まで参加していた高齢者の現状と、今後の感染予防を行ったうえでの再開のめどについて伺う。

**答弁** 参加者の約7割が75歳以上の高齢者であり、身体的な虚弱や精神的な影響が心配されたことから、休止中はラジオ放送の実施とDVDの貸出などの対策を行い、家庭での運動継続が可能となるよう努めました。また、5月の連休明けから体操の参加者650人全員に対して訪問を実施し、健康状態などを確認した結果、参加者の約3%である24の方が、やや虚弱になっている状況が認められましたので、要介護認定申請を行うなど必要な支援につなげました。いきいき百歳体操の再開につきましては、各会場のボランティアの皆さんが安心して取り組むことができるように、開始前の検温や消毒の徹底など、厚生労働省のガイドラインを参考に、各会場ごとに打ち合わせを開始しました。実施が可能となった会場から順次、無理のない範囲で再開したいと考えています。